パブリックスペース・デザインガイドライン

- 1 ランドスケープ
- 2 植栽
- 3 サイン
- 4 光環境
- 5 アート
- 6 ファニチャー
- 7 色彩
- 8 素材

LANDSCAPE

SIGN
LIGHTING
ART
FURNITUR
COLORING
MATERIAL

1)コンセプト

「ランドスケープ」は、新キャンパスのトータルなシーンを演出し、大学の"風格"を示す重要な要素となる。

デザイン・マニュアルにおいては、以下の3つのコンセプトに基づき、新キャンパスにおける「ランドスケープ」形成のあり方を示す。

地域の風土・ランドスケープとの調和

周辺地域と連続・一体化した地形及び景観づくりにより、地域環境・地域景観との調和を図る。特に、法面の修正や自然回復などにより、地域になじんだ景観づくりを行う。

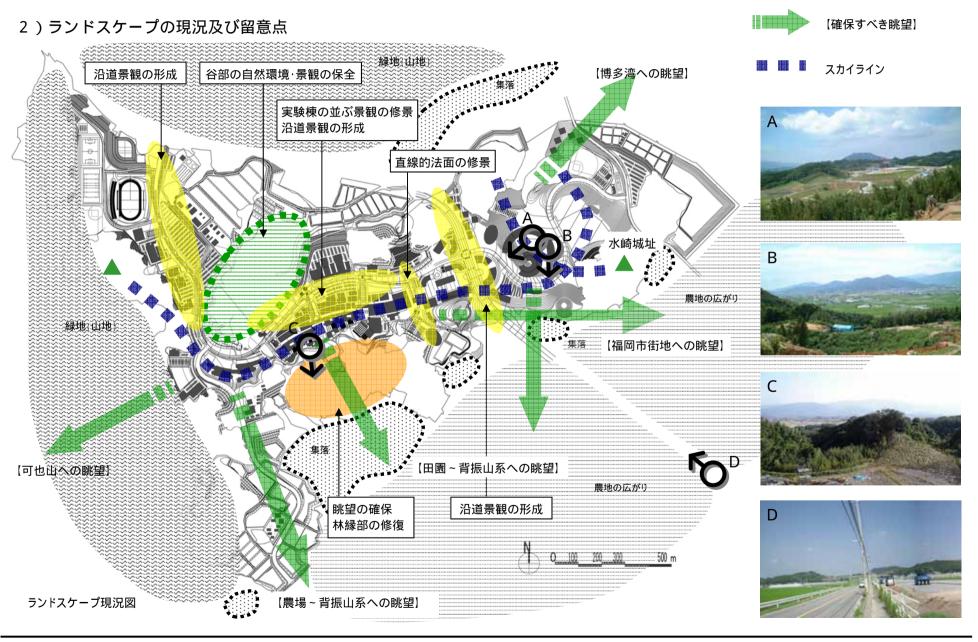
視点場の形成や軸線の強調などにより、良好な眺望景観の活用を図る。

自然との多様な接点の創出

「建築」-「整備緑地」-「保全緑地」の多様な関係の構築を図り、生活者と自然との接点を多様で豊かなものとする。 「風土の表象」として、地域自然の構成要素(大木・岩など)の保全・再現により、新キャンパスの原風景(イメージ)を彷彿させる景観演出を行う。

大学生活の「場」にふさわしい創造性を誘発する空間の創出

さまざまなアクティビティやコミュニケーション、創造性の誘発に資する"魅力ある"空間づくりを図る。 煩雑な景観となることを防ぐため、「サイン」「光」「アート」「ファニチャー」などの要素の複合化などにより、シンプルで明快な 景観の形成を図る。



-1-2 PSDM2004

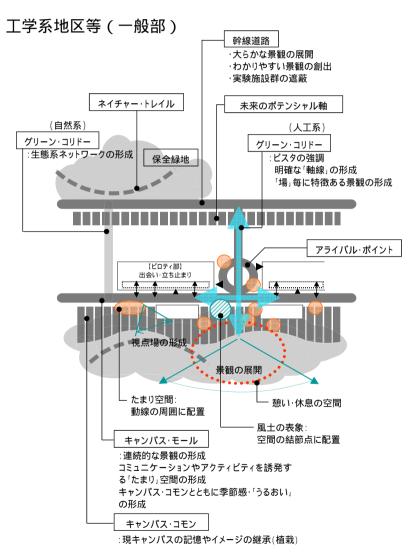
3)ランドスケープ形成方針

対象空間におけるランドスケープ形成方針を以下に示す。

対象空間	想定されるアクティビティ	ランドスケープ形成方針		
		風土・ランドスケープとの調和	自然との多様な接点	創造性を誘発する空間
キャンパス・モール	・出会う、集まる、語らう ・移動する ・休む、お茶を飲む、食事をする ・景色を楽しむ ・九大祭の出店・集会 ・記念撮影	田園や市街地・海への眺望の活用	季節感の創出による「うるおい」の形成	新キャンパスの「共有の空間」として、組織間の境界のない(連続的な)景観を形成コミュニケーションやアクティビティを誘発する「たまり」空間の形成記念樹・記念碑等の活用による現キャンパスの記憶やイメージの継承
未来のポテンシャル軸	-			
幹線道路	・移動する	周辺の地形や景観に違和感な〈"なじむ"街路 景観の形成 直線的法面の改良	周辺への視線の広がりを活かした大らかな 景観の創出 幹線道路からの視線に配慮した景観の形成	わかりやすい景観の創出(花木による交差 点の明示など)
キャンパス・コモン	・散策する ・休む、お茶を飲む、食事をする ・景色を楽しむ、花見をする ・ゆったりくつろぐ、寝る ・軽いスポーツをする	空間のゆとりを活かした大らかな景観の形成	季節感の創出による「うるおい」の形成	新キャンパスの「共有の空間」として、組織間の境界のない(連続的な)景観を形成記念樹・記念碑等の活用による現キャンパスの記憶やイメージの継承
グリーン・コリドー	·移動する ·集まる ·木かげで休む	連続した「緑」による生態系ネットワークの形成	空間の結節点における「風土の表象」	幹線道路側からのアプローチとしての明確な「軸線」の形成 「場」毎の特徴ある景観を形成
大学の顔 アライバルポイント	・出会う、集まる、移動する ・バスの乗降 ・記念撮影 ・イベント開催 ・地域との交流	「絵」になる景観づくり 建築と調和した印象的な景観の創出		
ネイチャー・トレイル	・散策、リフレッシュ・景色を眺める・自然観察・体験学習	緑地景観の保全	ポイント的な補植(花木など既存種)や、沿道の除伐等による魅力ある空間づくり	
保全緑地	·学術研究 ·環境教育	原則として保全 補植による林縁部の修復 景観的にも改善 (周辺地形を含めた)遺跡等の保全	竹林の樹種転換・除伐等による眺望の確保	

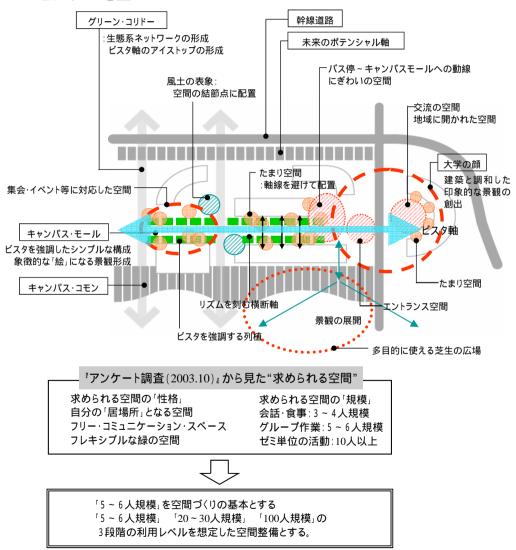
4)キャンパス空間の構成

キャンパス空間の構成(模式)及び各空間整備の考え方を以下に示す。



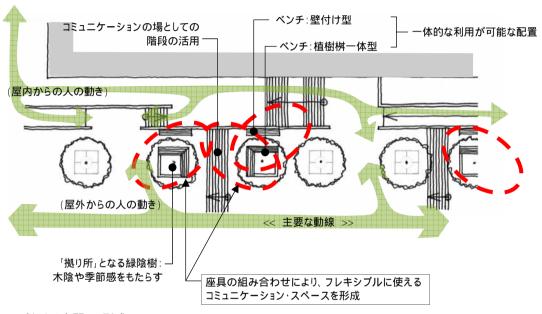
センター地区

-1-4



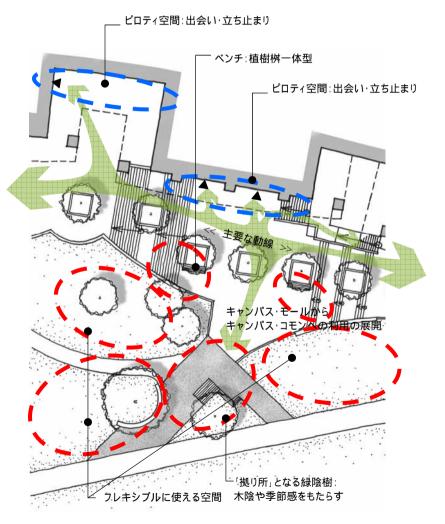
たまり空間

全学教育施設·研究教育棟等の建築周囲に確保する"たまり空間"の構成の考え方を以下に示す。



- <「たまり空間」の形成>
- ・屋内外からの動線を妨げない位置に「たまり空間」を 確保する
- ・コミュニケーションの"拠り所"となるとともに、快適な木陰 や季節感をもたらす緑陰樹を植えることで、「場」への 親しみや愛着をより深いものとする
- ・ベンチ(植樹桝一体型・壁付け型など)や縁台に加え、 近接の階段なども「座具」として積極的に活用する
- ・それらの組み合わせにより、5~6人規模から20~30人 規模まで、フレキシブルに使えるコミュニケーション空間 を形成する



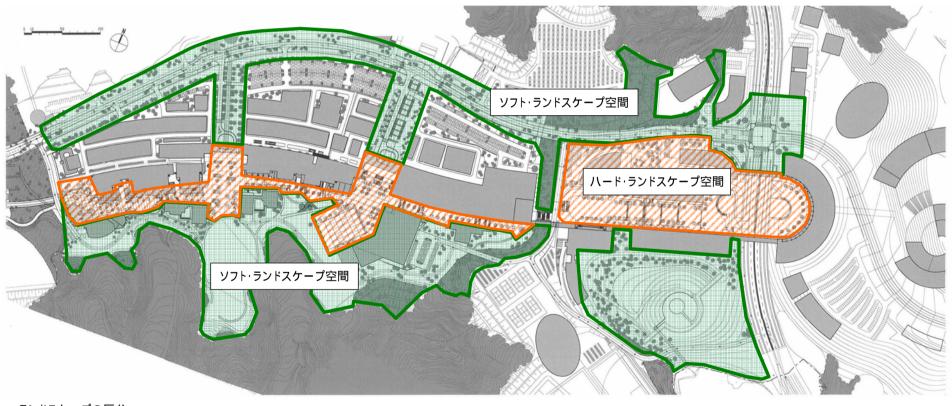


5)モデル空間におけるランドスケープの区分

想定されるアクティビティやランドスケープ形成方針を踏まえ、モデル空間は、

床面を舗装した人工的なランドスケープで形成するハード・ランドスケープ空間 植栽を主体として自然的なランドスケープで形成するソフト・ランドスケープ空間

の2つの空間に大別される。(下図)

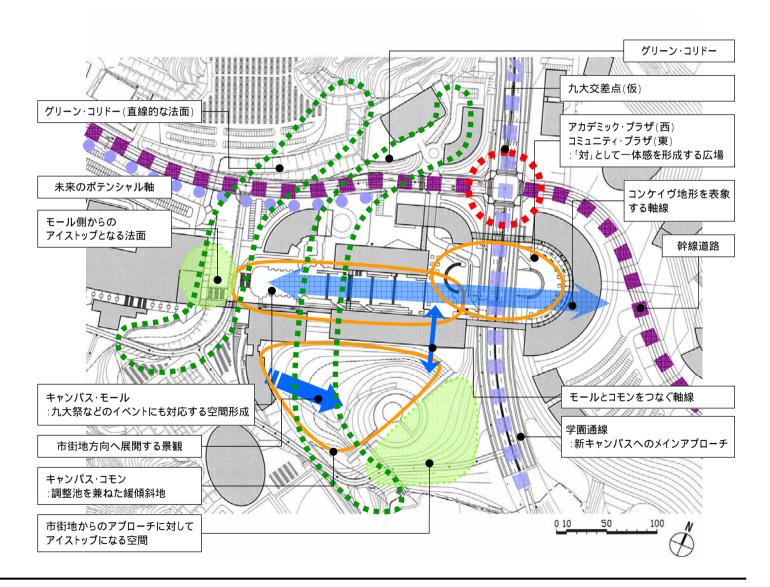


ランドスケープの区分

-1-6 PSDM2004

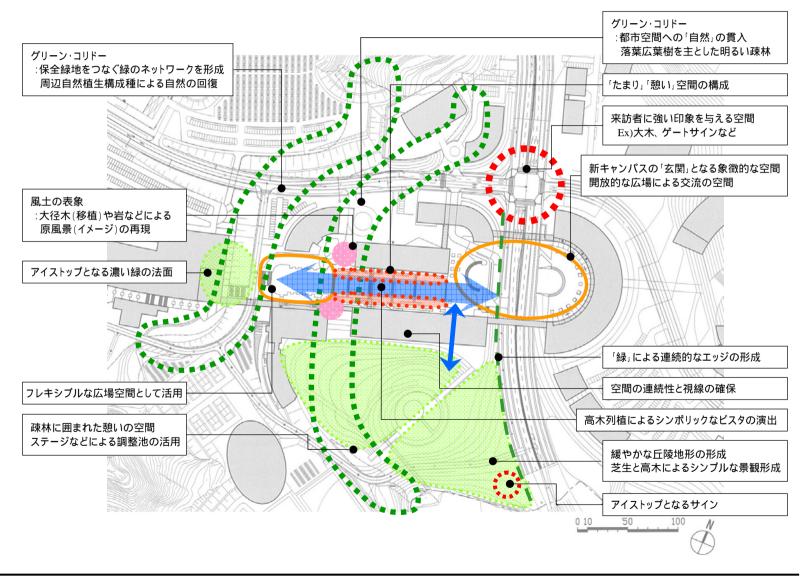
6)空間モデル:センター地区

空間の分析



センター地区分析図

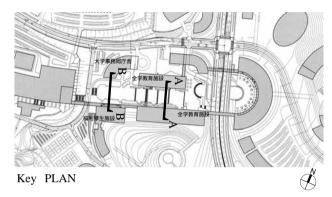
整備方針

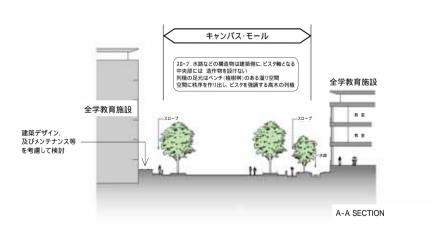


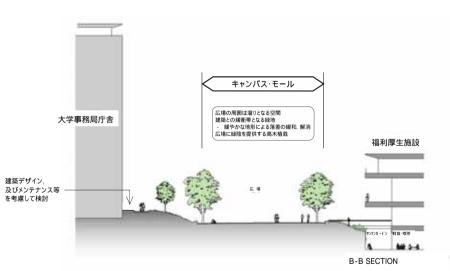
センター地区方針図

-1-8 PSDM2004

整備イメージ



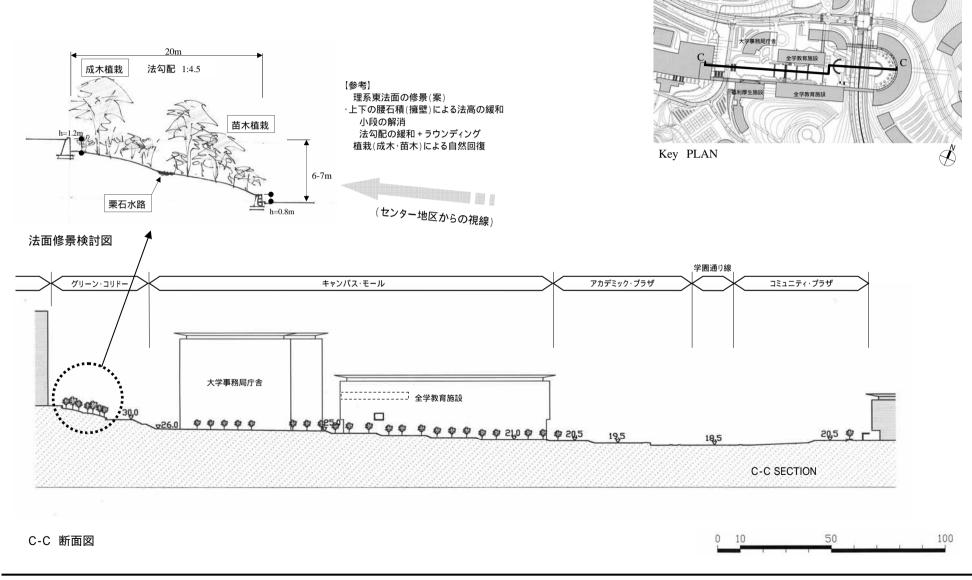




A-A 断面図 B-B 断面図

-1-9





-1-10 PSDM2004



キャンパスモール:西向き



キャンパスモール:ブリッジから東向き



象徴的空間



キャンパスモール:春の景



キャンパスモール:秋の景



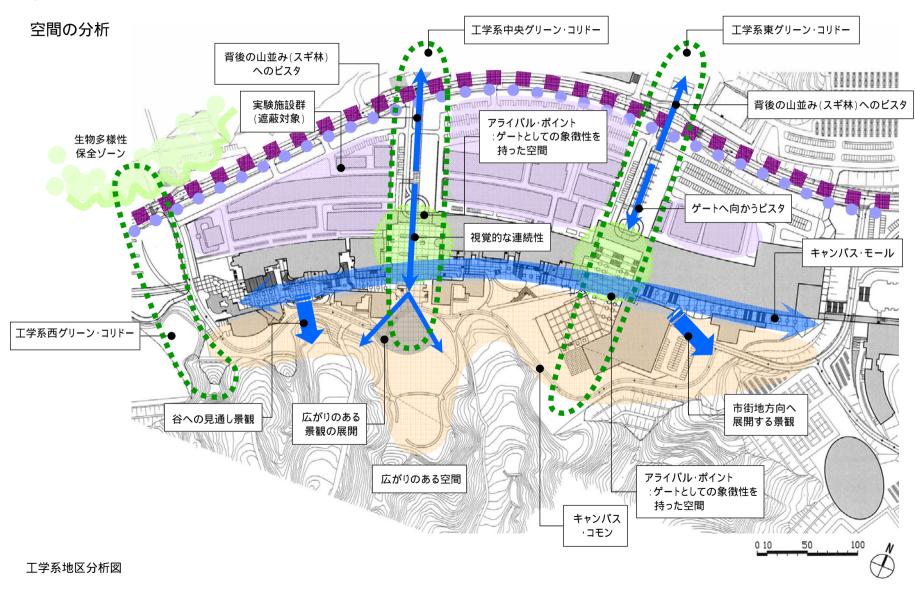
キャンパスモール:夏の景

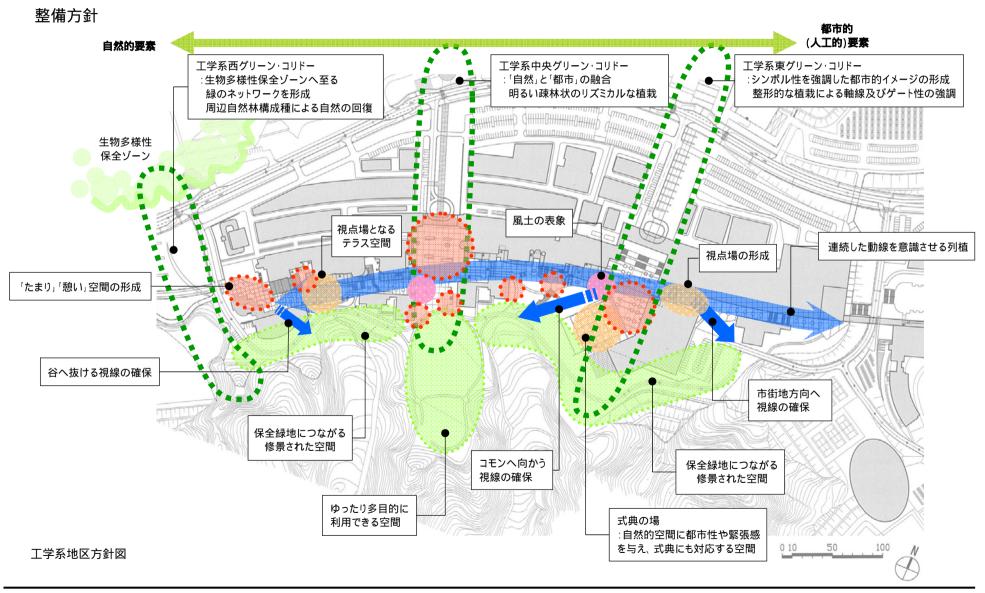


キャンパスモール:冬の景

-1-12 PSDM2004

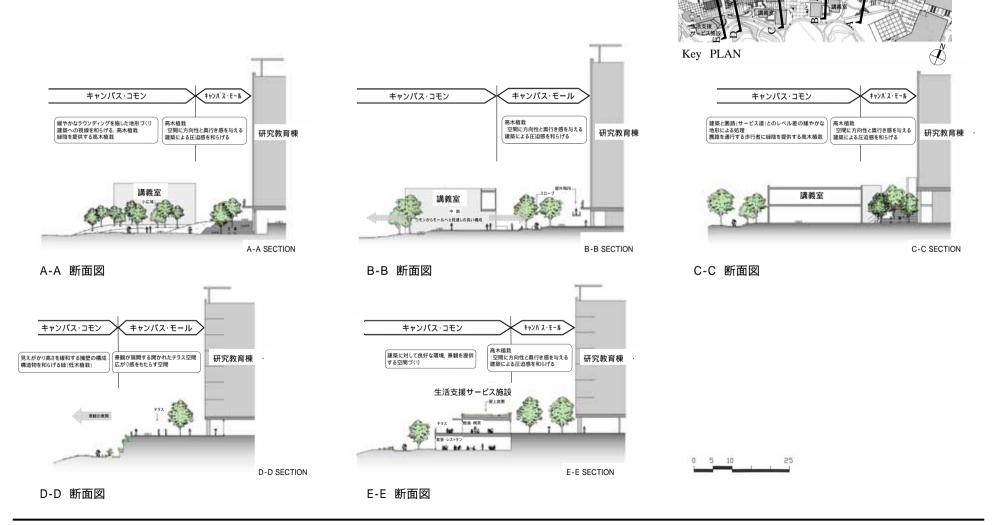
7)空間モデル:工学系地区

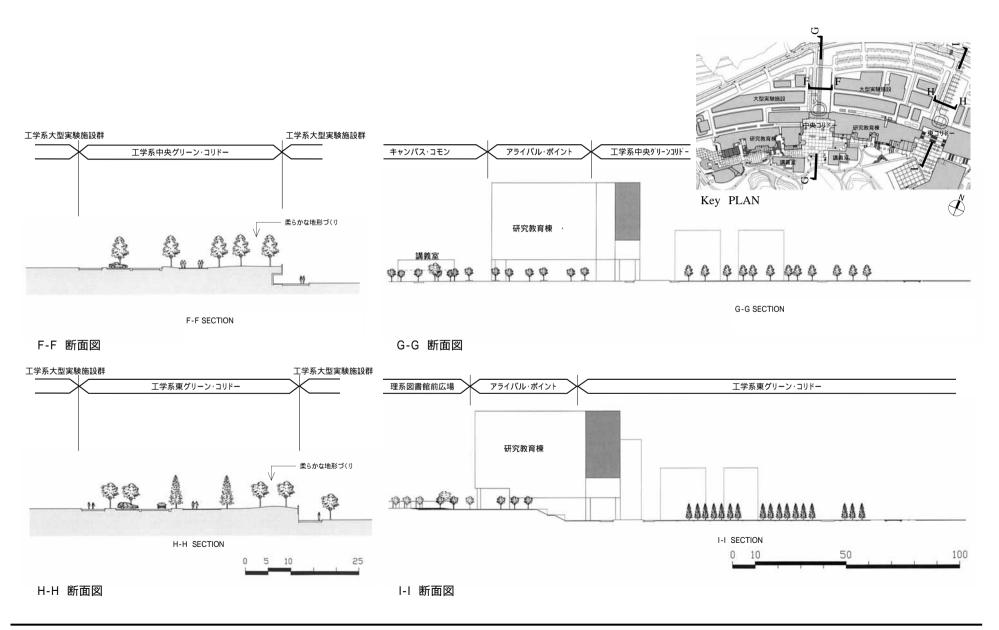




-1-14 PSDM2004

整備イメージ



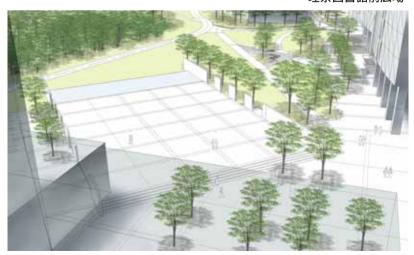


-1-16 PSDM2004



研究教育棟南側(テラス)

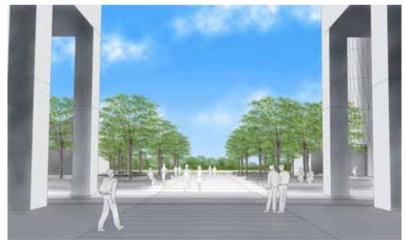
理系図書館前広場



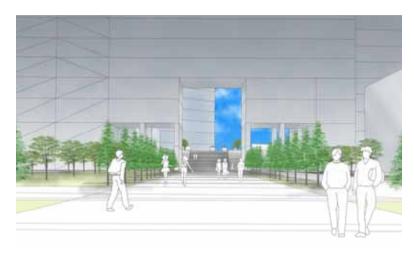
工学系地区全景



グリーン・コリドー:工学系中央(施工直後)



グリーン・コリドー:工学系中央(将来形)



グリーン・コリドー:工学系東(施工直後)



グリーン・コリドー:工学系東(将来形)

-1-18 PSDM2004